

Asada Hiroshi

2022 8.6 [土] —
10.10 [祝]

没後 25年

前期：8月6日(土)～9月4日(日)
後期：9月9日(金)～10月10日(祝)

浩麻 展 田

心に映る風景

■ギャラリートーク

講師：麻田弦氏（麻田浩長男）

日時：9月18日(日)

時間：14:00～15:00

※予約制 電話にて当館までお申込み下さい

参加費
無料
要入館料

定員
20名

□開館時間＝9:00～17:00(入館は16:30まで)

□休館日＝毎週月曜日(9月19日、10月10日は開館)

9月20日、9月6日～8日

□入館料＝大人310円(250円)／学生200円(160円)

小中学生100円(80円)

※()内は20名以上の団体料金、南丹市在住・在校の小・中学生は入館無料
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳をお持ちの方は別途割引料金となります(手帳をご提示ください)

南丹市立文化博物館 

〒622-0004 京都府南丹市園部町小椋町63番地 TEL.0771(68)0081 / FAX.0771(63)2983

没後 25 年

— 心に映る風景 —

麻田 浩 *Asada Hiroshi* 展 田



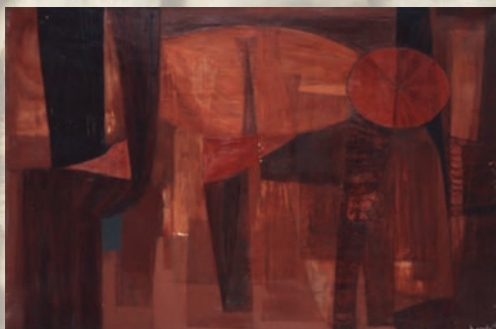
1



2



3



4



5



6



7

麻田浩 (1931-1997) は、南丹市八木町出身の日本画家、麻田辨自を父に、同じく日本画家、麻田鷹司を兄に持つ、美術家の一家に生まれました。しかし、美術学校等へは進まず、同志社大学経済学部に入學、大丸百貨店へ就職する道を歩みました。ただ、画家への道は捨てきれず、大学在学中から新制作協会に出品するなどの活動を続けました。そして、1962年に大丸百貨店を退職し、画家一本の生活を始めました。1971年から渡欧し、パリを拠点にしながらも、日本の新制作展や安井賞展などにも出品を続けました。また、この期間には版画制作にも力を入れフランス・ドイツ・ベルギーなどでも個展を開催しました。

1982年、50歳で帰国し、京都市立芸術大学西洋画科の教授を務めながら、滞欧時から続く石や水、羽などの自然物をモチーフにした「原風景」を描いていましたが、その後「原都市」と名付けた廃墟や人工物へと作風が変遷しました。また、1991年にはキリスト教の洗礼を受けたことにより、次第に宗教的・精神的なテーマに傾倒していき、キリスト教の世界観に着想を得た作品を描くようになりました。

没後 25 年という節目に開催する本展は、初期から晩年までの油彩画、版画、ドローイングなど一堂に集め、麻田浩の全容を紹介します。

【掲載図版】[表] 中央:地・影 (1989-90年)《当館蔵》[後期]、下部:無題(部分)(1970-72年)《当館蔵》[前期]、[裏] 背景:無題(部分)(1960年頃)《個人蔵》[前期]、背景右:無題(部分)(1970-72年)《当館蔵》[後期]、1:地・洪水のあと(1985-86年)《京都国立近代美術館蔵》[前期] 2:原風景(1973年)《個人蔵》[前期] 3:窓外風景(煙)(1967年頃)《当館蔵》[後期] 4:作品B(1954年)《当館蔵》[後期] 5:ドローイング(樹の人)(製作年不詳)《個人蔵》[前期] 6:深みより(1981年)《個人蔵》[前後期] 7:水のはなし(10)(1980年)《当館蔵》[後期]



【アクセス】

◆自動車…京都縦貫自動車道「園部IC」「八木西IC」より約5分。園部公園駐車場をご利用ください。
◆公共交通…JR園部駅下車、駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園篠線」に乗車。「交流会館前」下車すく。または市営ぐるりんバスで「図書館前」下車すく。

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小坂町63番地 TEL.0771 (68) 0081 / FAX.0771 (63) 2983

※新型コロナウイルス感染症の影響等により事業が中止または内容変更となる場合がございます。ご来館の場合はホームページ等でご確認のうえ、お越しくさせていただきますようお願いいたします。